



2025 年 10 月 17 日

各 位

会社名 株式会社トリプルアイズ
代表者名 代表取締役 山田 雄一郎
(コード番号：5026 東証グロース)
問合わせ先 執行役員 近藤 一寛
(TEL. 03-3526-2201)

トリプルアイズ 2025 年 8 月期決算説明会 書き起こし公開のお知らせ

2025 年 10 月 15 日（水）に開催しました「2025 年 8 月期決算説明会」につきまして、
書き起こし記事を公開いたしましたので、お知らせいたします。
2025 年 8 月期の決算概要、直近の取り組み、今後の成長戦略等についてご説明しておりますので、株主・投資家の皆さまにおかれましては、ぜひご覧いただけますと幸いです。

以上



株式会社トリプルアイズ
2025 年 8 月期通期決算説明会
2025 年 10 月 15 日

イベント概要

[企業名] 株式会社トリプルアイズ

[証券コード] 5026

[イベント言語] JPN

[イベント種類] 決算説明会

[イベント名] 2025 年 8 月期通期 決算説明会

[決算期] 2025 年度 通期

[日程] 2025 年 10 月 15 日

[時間] 19 : 00 – 20 : 00

[開催場所] インターネット配信

[登壇者] 3 名 代表取締役・山田雄一郎、取締役・桐原永叔、取締役 CFO・加藤慶



□サマリー

2025 年 8 月期 通期業績の概要

2025 年 8 月期の業績は、売上高が前年同期比で増加したものの、当期純利益は減少した。

- 売上高は 5,714 百万円で前年同期比 129.6%。
- 経常利益は 59 百万円で前年同期比 125.9%。
- 当期純利益は△343 百万円で、前年同期比で△420 百万円の減少。
- AI ソリューション事業は売上高 4,626 百万円、経常利益 59 百万円で成長。
- GPU サーバー事業は経常利益が△0 百万円で、税制改正の影響を受けた。

事業セグメント別の業績分析

各事業セグメントの業績は異なり、AI ソリューション事業が好調であった。

- AI ソリューション事業の売上高は 4,626 百万円で前年同期比 151.1%。
- GPU サーバー事業の売上高は 1,101 百万円で前年同期比 79.7%。
- AI ソリューション事業の営業利益は 41 百万円で前年同期比 1,962.4%。
- GPU サーバー事業は経常利益が△0 百万円で、利益水準が低下。

財務状況の改善と資本政策

財務体質が改善され、純資産比率が上昇した。

- 純資産比率は 34.4%に上昇し、財務体質が大きく改善。

- 純資産は前年末比 814 百万円増加し、1,665 百万円に達した。
- 棚卸資産評価損 286 百万円を計上したが、グループインした BEX 社のファウンダー及び資本業務提携を実施したゲームカード・ジョイコ社に対する第三者割当増資の実施等により改善。

2026 年 8 月期の業績予想

2026 年 8 月期は IFRS を適用し、営業利益の黒字化を見込んでいる。

- 売上高は 5,837 百万円を予想し、前年同期比 102.2%。
- 売上総利益は 1,894 百万円を見込む。
- 営業利益は 81 百万円の黒字を見込む。
- AI ソリューションと GPU サーバー事業の成長を期待。

成長戦略と市場環境

AI 市場は加速成長を続け、トリプルアイズは AI プラットフォーム展開を進める。

- 国内 AI 市場は 2027 年までに約 1.1 兆円に拡大する見込み。
- AI プラットフォームの展開を通じて、顧客との共同開発を強化。
- レガシー産業への AI 実装を進め、業種特化の AI プロダクト開発を目指す。

□はじめに

トリプルアイズ代表取締役・山田雄一郎（以下同）

2025 年 8 月期は当社にとって、さまざまな課題や困難に直面した 1 年でした。本日の説明会では、課題の背景含めてご説明するとともに、今期（2026 年 8 月期）においてどのように課題を改善し成長につなげていくかを中心にお話していきます。

□2025 年 8 月期 通期業績の概要

決算サマリー①

売上高

5,714百万円

(前期比：129.6%)
(修正後計画比：101.1%)

経常利益

59百万円

(前期比：125.9%)
(修正後計画比：+56百万円)

当期純利益

△343百万円

(前期比：△420百万円)
(修正後計画比：+31百万円)

業績ハイライト

2

連結業績

- BEX社のPLがフルで連結された（前期は2ヶ月分のみ連結）ことにより、売上高及び経常利益が大きく増加
- 一方で、AIソリューション事業のエンジニアリングサブセグメントにおける人員減に伴う売上減少や、昇給による人件費増加、GPUサーバー事業における税制改正に伴う売上減少や棚卸資産評価損286百万円等により、当期純利益は減益で着地

AIソリューション

- 「AIインテグレーション」における単価上昇、生成AI関連の開発需要増に伴うAIラボ契約拡大、ゲームカード・ジョイコホールディングス社からの案件受注拡大などが売上及び利益拡大に寄与
- 「エンジニアリング」においては高稼働率を維持しているものの、5月に臨時賞与32百万円を支給人員減による3Q会計期間の赤字が響き、3Q以降利益水準が低下

GPUサーバー

- 令和7年度税制改正を受けて、4Qはマイニングマシンの販売が減少し、AI開発用途向けGPUサーバーの販売が本格化したものの、通期の経常利益は少額ながら赤字で着地
- 暗号資産相場が堅調に推移し、暗号資産評価益48百万円、暗号資産売却益11百万円を通期で計上
- 暗号資産事業における包括的協業を締結などを通じて、暗号資産トレジャリー事業支援開始

Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

- まず**連結業績**ですが、BEX 社の PL がフルで連結されたことにより、売上高及び経常利益が大きく増加いたしました。一方で、エンジニアリングサブセグメントにおける人員減に伴う売上減少や、昇給による人件費増加、GPU サーバー事業における税制改正に伴う売上減少や棚卸資産評価損 286 百万円等により、当期純利益は減益で着地いたしました。
- AI ソリューション事業**につきましては、「AI インテグレーション」における単価上昇、生成 AI 関連の開発需要増に伴う AI ラボ契約拡大、ゲームカード・ジョイコホールディングス社からの案件受注拡大などが売上及び利益拡大に寄与しました。
- 「エンジニアリング」においては高稼働率を維持しているものの、5 月に臨時賞与 32 百万円を支給、人員減による 3Q 会計期間の赤字が響き、利益水準が低下いたしました。
- GPU サーバー**におきましては、令和 7 年度税制改正を受けて、4Q はマイニングマシンの販売が減少し、AI 開発用途向け GPU サーバーの販売が本格化したものの、通期の経常利

益は少額ながら赤字で着地いたしました。

決算サマリー②

連結前年同期比較

3

第3四半期時点の業績予想開示の数値から、営業利益は21百万円、経常利益は56百万円改善(詳細は適時開示)

(単位:百万円)	2024年8月期 通期実績	2025年8月期 通期実績	前期比	2025年8月期 通期計画 (業績予想修正後)	達成率
売上高	4,410	5,714	129.6%	5,650	101.1%
売上総利益	1,474	1,731	117.5%	1,740	99.5%
営業利益・損失(△)	38	△ 61	—	△ 83	—
EBITDA	225	298	132.3%	222	133.9%
経常利益	47	59	125.9%	3	1,883.0%
当期利益・損失(△)	76	△ 343	—	△ 375	—

※EBITDA＝経常利益＋減価償却費＋のれん償却費＋支払利息
Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

業績予想修正後と比較しまして、営業利益で 22 百万円、経常利益で 56 百万円の改善を示しております。売上高は 57 億 14 百万円で前期比 129.6%、売上総利益は 17 億 31 百万円で前期比 117.5%となりましたが、営業利益は 61 百万円の赤字で着地いたしました。EBITDA につきましては約 3 億円、当期純利益につきましては、今期在庫の評価損を計上しましたので 3 億 43 百万円の赤字になっております。

セグメント別サマリー

事業別前年同期比較

4

(単位:百万円)	AIソリューション事業			GPUサーバー事業		
	2024年8月期 通期実績	2025年8月期 通期実績	前年同期比	2024年8月期 通期実績	2025年8月期 通期実績	前年同期比
売上高	3,062	4,626	151.1%	1,381	1,101	79.7%
売上総利益	792	1,200	151.5%	681	542	79.6%
営業利益・損失(△)	2	41	1,962.4%	2	△ 105	—
EBITDA	66	153	229.7%	158	144	91.3%
経常利益	28	59	212.9%	19	△ 0	—

※EBITDA＝経常利益＋減価償却費＋のれん償却費＋支払利息

※セグメント別業績については、2025年8月期からの経営指導料等の計上区分変更の会計方針の変更に伴い、2024年8月期の実績を遡及修正しています
Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

- AIソリューション事業においては、BEX社のエンジニアリング事業の取り込みによって、

粗利も含めて大きく増加した反面、BEX 社の人員減、トリプルアイズ社のオフィス移転など追加費用が発生した年でした。

- **GPU サーバー事業**においては、マイニングマシンから AI GPU サーバー事業へとビジネスモデルをシフトしているなかで、売上、粗利ともに減少いたしました。

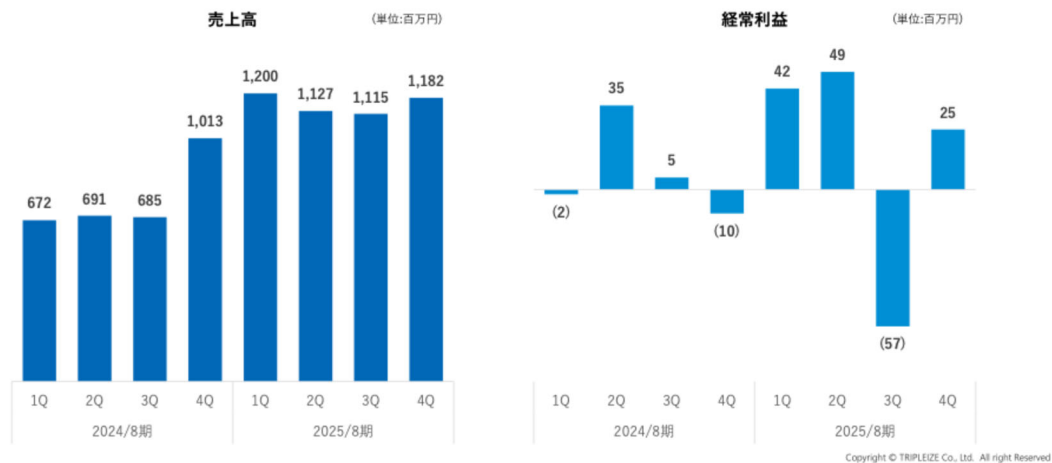
当社グループの事業セグメント及びサブセグメントの事業概要及び担当会社は下記の通り

セグメント	AIソリューション			GPUサーバー
	AIインテグレーション	AIプロダクト	エンジニアリング	
サブセグメント				
事業概要	AI/システムの開発、AIに関するコンサルティング、業種別パッケージの導入等	顔認証AIや画像認識AIを搭載した自社サービス提供による月額利用料及びサービス提供に伴って生じるデバイスやカスタマイズ開発	主に自動車メーカー向けの設計開発業務の役務提供	独自開発ソフトを搭載したGPUマシンやモジュール型データセンター「DINO」、AI向けGPUサーバーの提供に加え、それらに伴う保守管理サービスを展開
 TRIPLEIZE	●	●		
 BEX			●	
 ZEROFIELD				●

Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

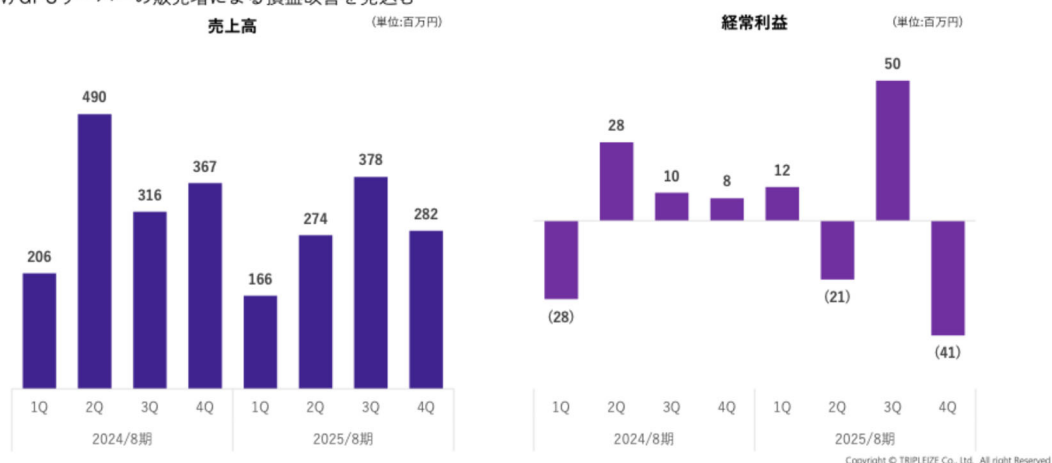
あらためて事業セグメントについてご説明いたします。大きく「AI ソリューション」と「GPU サーバー」という二つのセグメントがあり、「AI ソリューション」のなかにサブセグメントとして、「AI インテグレーション」「AI プロダクト」「エンジニアリング」の3つがあります。「AI インテグレーション」と「AI プロダクト」についてはトリプルアイズ社が、「エンジニアリング」は BEX 社が、「GPU サーバー」はゼロフィールド社が、それぞれ該当いたします。

AIソリューション事業においては、3Qにエンジニアリングサブセグメントにおける人員減、臨時賞与32百万円の支給等の影響で3Qに営業損失を計上も、4Qに人員増及び稼働率上昇を背景とした売上高の増加により、通期売上高4,626百万円、経常利益59百万円で着地し、前期比で大きく成長



こちらはAIソリューション事業における過去2期分の推移を示したものです。エンジニアリングサブセグメントにおける人員減、臨時賞与32百万円の支給等の影響で3Qに営業損失を計上も、4Qに人員増及び稼働率上昇を背景とした売上高の増加により、通期売上高4,626百万円、経常利益59百万円で着地し、前期比で大きく成長いたしました。

GPUサーバー事業においては、足元でAI開発用途向けGPUサーバーの販売が本格化し、2025年8月単月で105百万円の粗利を計上したものの、税制改正の影響に伴うGPUマイニングマシンの販売減により、4Qは経常損失41百万円を計上。その結果、通期では経常利益は△0百万円、EBITDAは144百万円で着地。2026年8月期は、マイニングマシンの販売減を上回るAI開発用途向けGPUサーバーの販売増による損益改善を見込む



GPUサーバー事業につきましては、足元でAI開発用途向けGPUサーバーの販売が本格化し、2025年8月単月で105百万円の粗利を計上したものの、税制改正の影響に伴うGPUマイニングマシンの販売減により、4Qは経常損失41百万円を計上いたしました。2026年8月期は、

マイニングマシンの販売減を上回る AI 開発用途向け GPU サーバーの販売増による損益改善を見込んでおります。

各事業の概況②

事業別トピックス

8

AIソリューション事業

AIインテグレーション

- 商流改善や単価上昇による社員1人当たり月平均売上の増加(前期4Q1,262K→当期4Q1,478K)、ビジネスパートナー粗利率(前期4Q平均13.2%→当期4Q平均15.3%)が改善
- 24年9月に資本業務提携したゲームカード・ジョイコホールディングス社からのDX/AI案件開発/保守業務の受注が拡大し、業務提携が順調に進行中
- 生成AI関連の開発需要増に伴い、AI開発契約は引き続き安定的に拡大中。**これに加え、AI開発契約からAI請負案件に繋がる事例が増加、RAG開発、LLMO開発、行動分析AIなど幅広く対応中
- 26年8月期に向けてAI開発案件、請負案件など新規受注が順調に進捗

AIプロダクト

- LINE WORKSの1次代理店となり営業活動を開始し、「アルろく for LINE WORKS」「きんろく for LINE WORKS」の営業活動を強化し新規受注が順調に進捗**
- 26年8月期に向けて太陽光発電事業所向けAI監視カメラサービスの新規受注が順調に進捗
- 大手自動車メーカー工場にて、AI顔認証勤怠管理システムを追加設置開始

エンジニアリング

- 高稼働率を維持し、**単価は向上しているものの、5月に臨時賞与32百万円を支給し、また、人数減が当初の想定を上回ったため、3Qは利益水準が低下。4Q以降は案件増により請負工数が増加したため、営業損益は黒字に回復、今後も黒字継続見込み**
- トリプルアイズと共同で、自動車設計業務効率化のためのAIソフト開発のプロジェクトチームを組成、複数の設計効率化ソフトの試作開発が進捗中

GPUサーバー事業

- アーカンソー州に3拠点目となるデータセンターを新設**
- マイニング事業者向けの電力サービスの共同検討を開始
- 暗号資産相場が堅調に推移し、4Q会計に14百万円の営業外収益を計上
- サブスク型ファイナンスサービスの取り扱いを開始し、初期費用を抑えた暗号資産マイニング機器やGPUサーバーの購入が可能に

Copyright © TRIM EYE Co., Ltd. All rights reserved.

Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

2025 年 8 月期の事業別のトピックスとなります。

- AI インテグレーション**につきましては、大変好調でありました。商流改善や単価上昇による社員 1 人当たり月平均売上の増加、ビジネスパートナー粗利率が改善したことによるもので、今期にとってもポジティブな内容だと思います。24 年 9 月に資本業務提携したゲームカード・ジョイコホールディングス社からの DX/AI 案件開発/保守業務の受注が拡大し、業務提携が順調に進行中しております。
- 生成 AI 関連の開発需要増**に伴い、AI 開発契約は引き続き安定的に拡大中です。これに加え、AI 開発契約から AI 請負案件に繋がる事例が増加、RAG 開発、LLMO 開発、行動分析 AI など幅広く対応中で、26 年 8 月期に向けて AI 開発案件、請負案件など新規受注が順調に進捗しております。
- AI プロダクト**につきましては、LINE WORKS の 1 次代理店となり営業活動を開始し、「アルろく for LINE WORKS」「きんろく for LINE WORKS」の営業活動を強化し新規受注が順調に進捗していますが、大型案件が少なく損益面については苦戦した 1 年であったかと思います。
- 一方で、26 年 8 月期に向けて太陽光発電事業所向け AI 監視カメラサービスの新規受注が順調に進捗し、大手自動車メーカー工場にて、AI 顔認証勤怠管理システムを追加設置が始まり、大型案件につながる新しい領域での展開がスタートしております。
- エンジニアリング**は高稼働率を維持し、単価は向上しているものの、5 月に臨時賞与 32 百万円を支給し、また、人数減が当初の想定を上回ったため、3Q は利益水準が低下しま

したが、4Q以降は案件増により請負工数が増加したため、営業損益は黒字に回復、今後も黒字継続見込みです。

- **GPU サーバー事業**につきましては、生成 AI 関連で電力需要が高まるなか、アーカンソー州に 3 拠点目となるデータセンターを新設しました。

財務状況

純資産比率が34.4%に上昇し財務体質が大きく改善

9

GPUサーバー事業において棚卸資産評価損286百万円を計上したものの、グループインした株式会社BEXのファウンダー及び資本業務提携を実施した株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングスに対して、第三者割当増資を実施したこと等により、前期末と比較して**純資産814百万円増加し、純資産比率は34.4%に上昇したことで、財務体質は大きく改善**

(単位:百万円)

純資産比率：17.3%

現金及び預金 1,613	流動負債 2,346
その他流動資産 1,414	固定負債 1,720
固定資産 1,889	純資産 850

24年8月期

純資産比率：34.4%

現金及び預金 1,914	流動負債 1,819
その他流動資産 1,142	固定負債 1,360
固定資産 1,788	純資産 1,665

25年8月期

Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

前期末と比較して純資産 814 百万円増加し、純資産比率が 34.4%に上昇し財務体質が大きく改善した 1 年となりました。グロース市場のなかでチャレンジし続けていくうえにあたって、ポジティブに捉えております。

□2026 年 8 月期業績予想

2026年8月期業績予想	業績予想サマリ	11
2026年8月期はIFRSを適用。また、GPUサーバーセグメントにおけるAIGPUサーバーの販売強化及びAIソリューションセグメントにおいては次ページ記載の各方針に基づく施策の実行により、営業利益の黒字化を見込む		

(単位：百万円)	2024年8月期 通期実績	2025年8月期 通期実績 (A)	2026年8月期 通期業績予想 (B)	増減額 (B-A)	前年比 (B/A)
売上高	4,410	5,714	5,837	123	102.2%
売上総利益	1,474	1,731	1,894	163	109.4%
営業利益・損失(△)	38	△61	81	143	—
経常利益・損失(△)	47	59	—	—	—
当期利益・損失(△)	76	△343	36	380	—

※2026年8月期については、IFRSを適用した数値を記載しております
※IFRSにおいては、経常利益の概念が無いため「—」としています

Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

2026 年 8 月期は IFRS（国際会計基準）を適用いたします。また、GPU サーバーセグメントにおける AIGPU サーバーの販売強化及び AI ソリューションセグメントにおいては次ページ記載の各方針に基づく施策の実行により、営業利益の黒字化を見込んでおります。

2026年8月期業績予想	各事業の方針	12
--------------	--------	----

	AIソリューション			GPUサーバー
	AIインテグレーション	AIプロダクト	エンジニアリング	
損益イメージ	↑	↑	↑	↑
来期方針	- 戦略的部署異動を背景とした契約単価上昇による粗利率の上昇 - AIラボ契約及びプライム案件の受注拡大 - 新卒21人の採用を中心とした採用の拡大	アルロクを中心とした新規契約獲得によるMRRの伸長及びAIZE関連カスタマイズ開発の受注増による拡大 - 開発コストの適切な管理	各種コミュニケーション施策などにより人員減少に歯止めをかけるとともに、請負工数のさらなる増加や採用数の増加を目指し、安定した黒字の継続を目指す	- マイニングマシン販売は鈍化する一方、AI開発用途向けGPUサーバーの販売が拡大する見込み - IFRS適用によるのれん非償却及び顧客関連資産償却の処理変更で114Mの改善

Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

- AI インテグレーションにおいては、戦略的部署異動を背景とした契約単価上昇による

粗利率の上昇、AI ラボ契約及びプライム案件の受注拡大を図っていきます。また、新卒 21 人の採用を中心とした採用の拡大が損益にプラスに寄与すると考えております。

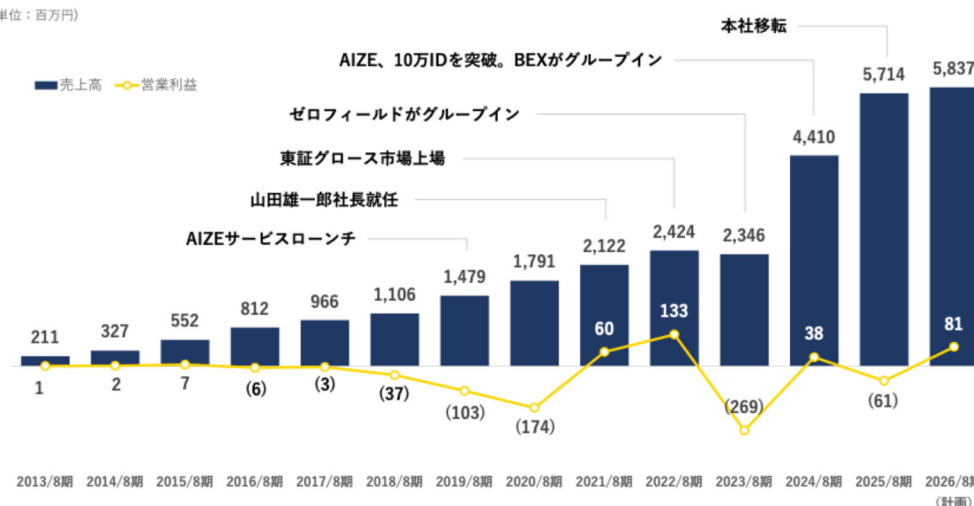
- **AI プロダクト**については、アルろくを中心とした新規契約獲得による MRR の伸長及び AIZE 関連カスタマイズ開発の受注増による拡大するとともに、開発コストの適切な管理を計画的に進めてまいります。
- **エンジニアリング**については、各種コミュニケーション施策などにより人員減少に歯止めをかけるとともに、請負工数のさらなる増加や採用数の増加を目指し、安定した黒字の継続を目指していきます。
- **GPU サーバー**については、AI 開発用途向け GPU サーバーの販売にシフトしてまいります。IFRS 適用によるのれん非償却及び顧客関連資産償却の処理変更で財務が改善する見込みです。

連結売上高・営業利益推移

上場後の規模拡大、そして利益創出フェーズへ

13

(単位：百万円)



Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

振り返ってみますと、上場後の規模の拡大がお分かりいただけると思います。「テクノロジーに想像力を載せる」というビジョンを掲げており、新たなチャレンジをしていくことが使命だと思っていますが、それに伴って利益と成長のバランスにおいてこれまでも波があることも確かです。23年8月期は減益となりましたが、構造改革や利益改善をしていきながら前進してきたのがここ数年だったかと思います。2025年8月期は仕込みの時期であり、2026年8月期は準備していた事業が花開き、しっかりと利益を出せる年にしていきたいと考えています。

□会社概要

テクノロジーに 想像力を載せる

創業者の故福原智は誓いました。
「ことばにできればすべてシステムにできる」と。
わたしたちは改めてこの誓いを胸に、
希望、夢、挑戦、幸福という想像力を
AIをはじめとした先端テクノロジーに載せて
未来に運びます。
DNAが遺伝子の乗り物であるように、
テクノロジーはわたしたちの想像力の乗り物なのです。



dtr / PIXTA

Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

「テクノロジーに想像力を載せる」という経営理念がわれわれの存在意義を表しています。この理念にあらためて立ち返り、ワクワクする未来に向けて先端テクノロジーで挑戦を続けていく所存です。

経営危機から新たな成長フェーズへ



何度も当社は危機を乗り越え、成長基調へ

これまでの軌跡を振り返ると、創業者急逝による会社存続の危機やウクライナ危機による上場

延期、23 年 8 月期の減益という、危機を乗り越えてきました。23 年 8 月期の下方修正の際は時価総額もかなり低迷しましたが、M&A グループインや世田谷区案件なども含めて 2024 年 7 月には通期営業黒字の上方修正発表につながりました。2025 年 8 月期は 3Q 開示で通期予算下方修正をし忸怩たる思いでありましたが、これから 2026 年 8 月期はもとより今後 3 年を見据えた利益構造改革に着手しているところであります。

わたしたちのコミット

わたしたちのコミットとリスクの共有

17

業績向上・株価向上へのコミットをより強化すべく、2024年9月及び2025年3月に、グループ3社の取締役、執行役員、幹部陣に対し有償ストックオプション（以下、有償SO）を発行しています。

	2024年9月割当		2025年3月割当
	第5回有償SO	第6回有償SO	第7回有償SO
付与対象者	社内取締役	社内取締役 社外取締役 執行役員 子会社取締役	社内取締役 社外取締役 執行役員 子会社取締役 従業員
付与株式数合計	168,150株	446,350株	353,400株
権利行使価格	1,405円	1,405円	1,218円
勤務条件	あり	あり	あり
業績条件	なし	25年8月期 連結売上高55億円	25年8月期 連結売上高55億円
強制行使条項	株価が 562円 を下回った場合、権利行使期間末日までに 全株強制行使	株価が 421円 を下回った場合、権利行使期間末日までに 全株強制行使	株価が 365円 を下回った場合、権利行使期間末日までに 全株強制行使
権利行使期間	2024年9月18日 ～ 2029年9月17日	2025年10月15日 ～ 2029年9月17日	2025年10月15日 ～ 2030年3月25日
発行価格	162円	8円	6円

業績・株価の向上へのコミットを強化

- グループ3社の取締役、執行役員、幹部陣に有償SOを発行
- 株価が権利行使価格を上回ること、付与対象者にリターンが生じる設計となっているため、業績だけでなく**株価向上へのコミットを強化**することが期待

強制行使条項

- 株価が一定の価格を下回ると、付与対象者は、**権利行使価格で全株取得する義務**が発生
- これにより、**株価下落を招く企業活動を抑制し、株価下落リスクを投資家の皆様とともに共有**する

株主のみなさまとしっかりベクトルを合わせ、業績向上・株価向上へのコミットをより強化すべく、2024 年 9 月及び 2025 年 3 月に、グループ 3 社の取締役、執行役員、幹部陣に対し有償ストックオプション（以下、有償 SO）を発行しています。

□市場環境

市場の動向

AIをめぐる環境に変化の兆し

29

インフラ問題の顕在化

生成AIとデータセンターで電力需要が急増し、送電や系統連系の保留が前面化。**データセンターの金融商品化**（REIT）など資金調達の巧拙が鍵となりつつある。

米中AI政策の再編

米トランプ政権下で、対中AI半導体輸出管理の発動が遅れつつも「複雑で重い規制」から「**より賢明で戦略的な仕組み**」へ見直しの流れが示されている

フィジカルAI

NVIDIAはGR00TとNewtonを公開し、シミュレーションから現実への技術移転を加速。**フィジカルAI**は産業・サービスで実装段階に入り、エコシステムの拡大が進展。

政権交代とAI政策

高市政権では、AI推進と経済安全を両立しつつ、**国産半導体・データ基盤強化、生成AI活用拡大**と安全対策がさらに加速する可能性が高い。



日本経済新聞

富士通、NVIDIAとAI分野で提携 半導体開発や「フィジカルAI」で

2024年10月23日 10:30 (JST) 2024年10月23日 10:30更新

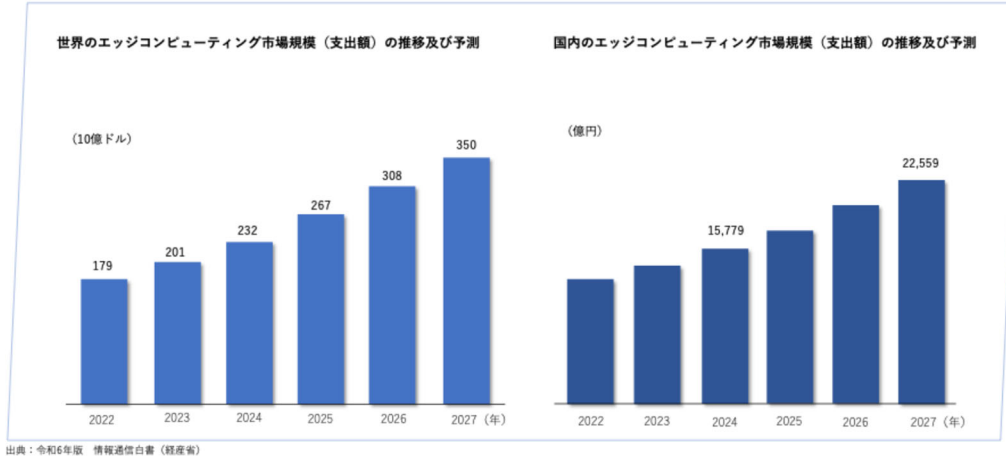
出展: <https://www.nikkei.com/article/DGXZQUC02CLX055A001C2000000/>

Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

生成 AI とデータセンターで電力需要が急増し、送電や系統連系のボトルネックが前面化しています。また、フィジカル AI は製造業で実装段階に入り、エコシステムの拡大が進展しており、エッジ AI を推し進めるわれわれのビジネスとも無縁ではありません。

高市政権では、AI 推進と経済安全を両立しつつ、国産半導体・データ基盤強化、生成 AI 活用拡大と安全対策がさらに加速する可能性が高いと見ています。独自の AI モデルを持つ企業として大きな文脈のなかでこの流れに乗っていきたいと考えています。

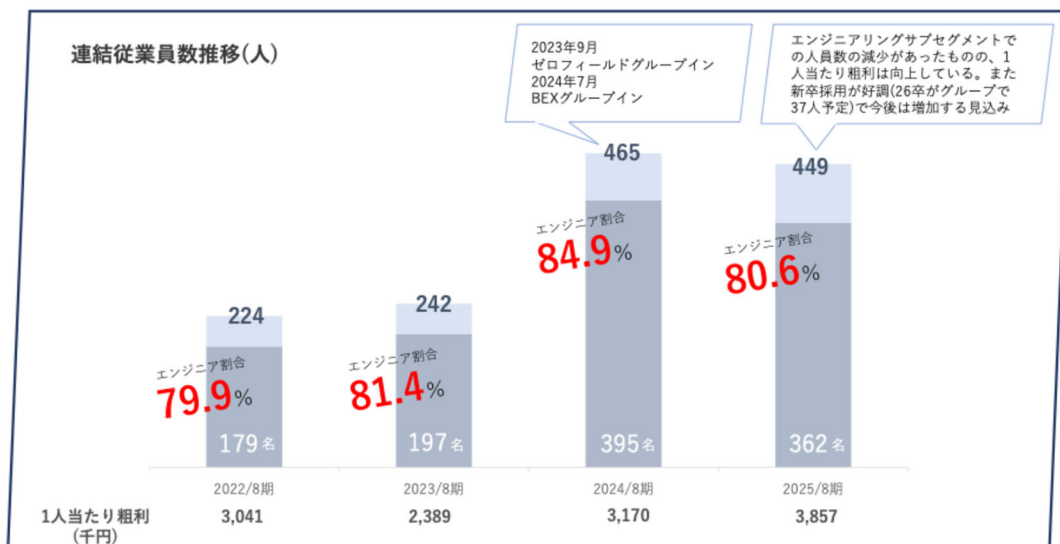
「フィジカルAI」はエッジ搭載へ拡張し、現場機器に即応する高速度の適応を実現、製造DXを前進させます。ロボットや工作機械に推論を直接実装し、即時制御とライン単位の個別最適を実現します。フィジカルAIの推進はエッジコンピューティング市場をさらに拡大する大きな可能性を秘めています。



Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

「フィジカル AI」はエッジ搭載へ拡張し、現場機器に即応する高速度の適応を実現、製造 DX を前進させます。フィジカル AI の推進はエッジコンピューティング市場をさらに拡大すると見えています。

□競争優位性



Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

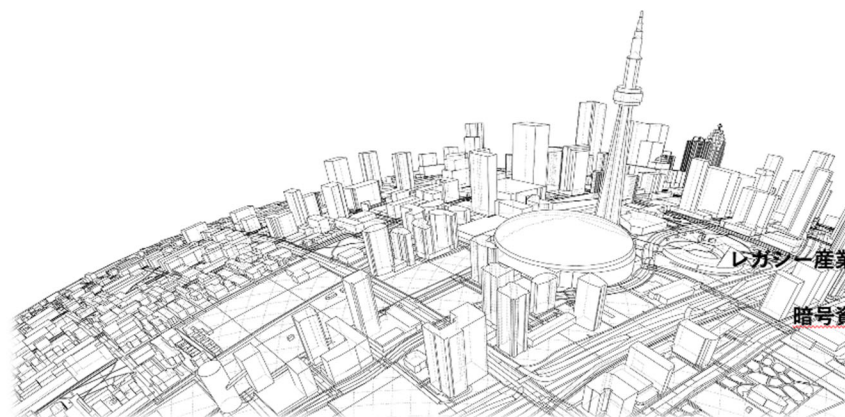
われわれのコアな価値を生み出すエンジニア人材ではありますが、前期はゼロフィールドと BEX のグループインによって一気に増加しましたが、2025 年 8 月期は、エンジニアリングサブセ

グメントにおいて人員の減少があり、売上・利益に対して影響がありました。2026 年 8 月期
に関しましては、新卒の採用が好調であり、改善する見込みです。

□成長戦略

Message

トリプルアイズグループは、画像認識をはじめとするAI技術、GPU、ブロックチェーン、そして自動車設計という最先端技術の各領域の現場の最前線にいます。エンジニアは新たな市場と未来を切り拓いていきます。



生成AIの爆発的進化

顔認証サービスの実装

レガシー産業への国産エッジAIの提供

暗号資産トレジャリー事業支援

AI×M&Aの非連続成長

「テクノロジーに想像力を載せる」というビジョンを掲げ、画像認識をはじめとするAI技術やGPU、ブロックチェーン、自動車設計といった最先端の技術にフォーカスしてチャレンジして新たな市場を切り拓いていきます。かつ利益創出のための選択と集中を行う1年にしていきたいと考えています。



Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

3つの大きな戦略を成長戦略の柱に掲げています。

- **AIプラットフォーム展開**では、自社プロダクトでのMRRを拡大し、10万IDの運用実績を積み重ねていきます。
- **レガシー産業へのAI実装**では、業界に深くリーチするプレイヤーとのM&Aや資本提携、エッジAIプロダクトによるAI需要の取り込みに取り組んでいきます。
- **GPUサーバー事業の推進**では、AI開発用途GPUサーバー、データセンターの展開を広げていきます。
- さらに、**同規模以上のM&A**と**暗号資産トレジャリー事業支援**によって、非連続な成長を目指していきます。

AIプラットフォーム展開

- ・世界大会有数の実績を誇る囲碁AIの研究開発から生まれた**10万IDの運用実績、自社AIプロダクトとしてはトップクラスの運用実績**（例：大規模自治体初の世田谷区非常勤勤怠管理システム採用から全国展開）
- ・当社AIプラットフォームと開発力を活かし、他社SaaSサービスと連携し、他社勤怠管理システムへバンドル提供、レベニューシェアで拡大（例：LINE WORKS、TeamSpirit、ASPIT等）
- ・**AI自社プロダクトは月額利用料(MRR)が高粗利で長期継続、拡大を目指す**
- ・AI自社プロダクトを全国の多様な業種に展開し、「AIラボ」の提供機会を創出する戦略とし、「AIラボ」を顧客と共同で取り組むことで、SI大型請負案件につなげる

Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

大規模自治体初の世田谷区非常勤勤怠管理システム採用から全国展開を目指していたのですが、自治体さんの予算どりの時間軸などの要因から想定よりも進みが遅かったという反省点があります。

SaaS サービスと連携した他社勤怠管理システムへバンドル提供につきましては、例に挙げている企業以外にもいくつか進行中のものがあります。このビジネスモデルに関しては、収益に直結していくうえでの時間軸のずれがあるため、今期改善点として改革を進めています。

「AI ラボ」に関しましては大きなポテンシャルを感じておりまして、AI ラボのフックから SI 大型請負案件につなげるという成功モデルができてきました。

レガシー産業へのAI実装

- ・AIの導入余地が大きいレガシー産業にアプローチ
- ・自動車業界(設計、製造)については、**トヨタグループ各社との顧客網を築く株式会社BEXの知見を活かし、業種特化のAIプロダクト開発を目指す**
- ・遊技業界プリペイドカードシステム最大手のゲームカード・ジョイコホールディングス社との資本業務提携も実施し、**遊技業界のAIによるデジタル化を目指す**
- ・上記以外でも、**レガシー産業にリーチするリーディングプレイヤーとのM&Aと資本業務提携を皮切りに、当該産業へのAI実装を目指す**
- ・イノテック社と共同開発した**製造業に強いエッジAIプロダクトによるAI需要の取り込み**

Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

自動車産業や遊戯業界など、AIの導入余地が大きいレガシー産業にアプローチしていくということですが、こちらも大きな市場だからこそ時間軸に課題がありますが、現場サイドでの仕込み期間を経て、2026年8月期には利益につなげていく流れができております。

エッジAIプロダクトによるAI需要の取り込みについてですが、これまで自社モデルについて投資してきた経緯がありますので、それを収益に転換していく1年にしたいと思います。

GPUサーバー事業の推進

- ・独自開発したソフトウェアを搭載した暗号資産マイニング用途及び**AI開発用途GPUサーバーマシン、モジュール型/コンテナ型のデータセンターの販売**
- ・大量電力消費時代における電力発電事業者や土地保有者との余剰電力等の活用推進
- ・電力料金の低くクリーンエネルギー活用可能な海外データセンターの拡張

Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved

マイニング用途からAI GPU用途へのビジネスモデルのシフトは、実績も上がりつつあり、スタートを切れた1年であったと思います。

電力発電事業者や土地保有者との余剰電力等の活用推進ですが、エネルギー問題にフォーカスされる昨今、新政権の誕生も相俟って、ポテンシャルを感じています。

M&Aによる非連続成長の実現

同規模以上のM&Aを実施し、非連続成長を実現

Moreover

AIの周辺領域のM&Aによるソリューションの強化

独自開発のAI基盤が多業種に展開可能で、シナジーを創出

M&A時には創業者も増資で参画し、グループ一体で価値向上を推進

今後も継続して M&A 政策を進めていくのですが、二つの大型 M&A 案件を経験したことから、その経験を活かして PMI で出てきた課題に向き合いながら改善し、次の M&A に活かしていきたいと考えています。

暗号資産トレジャリー事業支援

持続的かつ安定的な暗号資産事業を実現する

furthermore

暗号資産エコシステム全体の質的向上に貢献

国内外のマイニング基盤や技術的知見で信頼性の高い事業推進

電力コスト、環境対応、遠隔運用といった課題へのノウハウ提供

われわれには、これまでゼロフィールドで培ってきた知見があり、暗号資産エコシステム全体

の質的向上に貢献できるプレイヤーであると思っています。電力コスト、環境対応、遠隔運用といった課題へのノウハウ提供を行いながら、暗号資産トレジャリー事業支援を推進していきたいと思っています。

今期の業績につきましては、3Qでの下方修正があり、わたし自身、忸怩たる思いはあります。しかし、トリプルアイズはこれまでも逆境をバネに飛躍してきた企業です。2026年8月期の計画を上回れるよう、しっかり取り組んでまいります。

* 質疑応答につきましては、後日、質疑応答集を配信いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社トリプルアイズ

電話：03-3526-2201

HP：<https://www.3-ize.jp/>

MAIL：info@3-ize.jp